



RI会長代理
第2830地区(弘前RC)
関場 慶博 氏



RI元理事
第2650地区特別顧問
ロータリー日本財団会長
千 玄室 氏



内閣官房 教育再生会議
担当室 室長
義家 弘介 氏



京都商工会議所会頭
村田 純一 氏



堀場製作所最高顧問
パストガバナー
堀場 雅夫 氏



国際ロータリー
第2650地区
ガバナー 平井 義久



記念講演
「国家の品格」

講師：藤原 正彦 氏
数学者、お茶の水女子大学教授

昭和18年、満州生まれ。東京大学理学部卒業、同大学院修士課程修了。47年、ミシガン大学研究員、48年、コロラド大学助教授。平成元年よりお茶の水女子大学理学部教授。エッセイストとしても名高く、現在「国家の品格」がベストセラー。

さあ、京都・宝ヶ池に結集しよう!

すでにご案内のとおり、皆様の奉仕活動の総決算とも言うべき地区大会を
来る3月31日・4月1日、ウィリアム B. ボイドRI会長代理として、関場 慶博 氏ご夫妻をお迎えし開催いたします。
本年度は、地区全クラブの積極的なご参加のもとに、私たちの基本となる人と人の絆、地域社会との絆、
日本の、また国際社会との絆の大切さを再認識し、今日までつちかってきた奉仕の心、
共に味わった奉仕の感動を語りあい、わかちあい、学びあう有意義な大会にしたいと願っています。

ウィリアム B. ボイドRI会長は「Lead The Way」をテーマに、ロータリアンがベクトルを合わせ
率先して行動する必要性を提示され、同時に、人々の真に役立つ奉仕、国際的協力、
ボランティア精神の模範をロータリアンが先頭に立って示してゆこうと話されました。
ボイド会長の強い信念を受け、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を根幹に、
各クラブでは独自のプロジェクトで各テーマに傾注していただき、私が地区テーマとして掲げました
「絆——奉仕の感動を分かち合おう。」のもと有意義な取り組みをすすめていただきました。
その成果をふまえて活発な意見交換のもと、本大会がきっと次なる一歩の礎になるに違いありません。

今日ほど「絆」の大切さを問われる時代はございません。
絆が欠如しているがための目をおおいたくなる出来事、小・中学校のいじめの問題、親と子の絆の欠如・・・
この地区大会では、次代を担う子ども達のために一番大切な教育のあり方に思いを馳せ、
ロータリアンがいかに行動してゆくかの指針を導き出してまいりたいと存じます。
そこで、第1日目は「若者と語る会」を新たにプログラムに加えました。
千 玄室 氏の基調講演にひきつづき、
ヤンキー先生としてファンが多い義家 弘介 氏(内閣官房 教育再生会議担当室 室長)と
ご参加いただく子ども達、ご父兄、教師の皆様とともに、いじめの世相に斬り込んでまいります。

また、本会議におきまして、京都商工会議所会頭 村田 純一 氏、
堀場製作所最高顧問・パストガバナー 堀場 雅夫 氏と共に私が加わり鼎談をさせていただきます。
そこでは、企業とロータリー、ロータリーの金看板の職業奉仕について意見交換をいたします。

そして、記念講演では、ベストセラーの「国家の品格」をテーマに藤原 正彦 氏にお話を伺い、
世界の中の日本、日本人の誇り、自信、今日の荒廃にどう対処できるかという、
アドバイスで本大会をしめくくっていただきます。
ホストクラブであります京都洛中RC、コ・ホストクラブの京都中RC、京都モーニングRC の皆様には
充実した大会を準備していただいております。
この地区大会で地球村のリーダー、ロータリアンが率先して、
さらに絆を深め合う有意義なものとなりますよう心より願っております。

春爛漫の、京都・宝ヶ池でお会いしましょう!

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井 義久